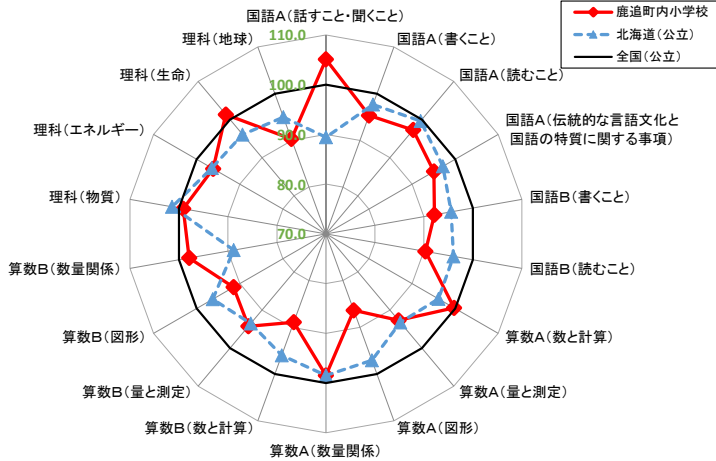


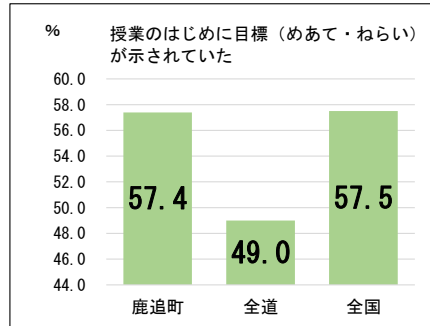
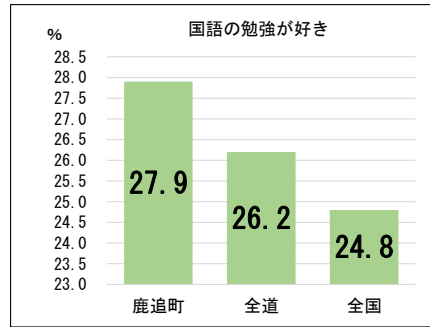
鹿追町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:61名)

【教科全体の状況】

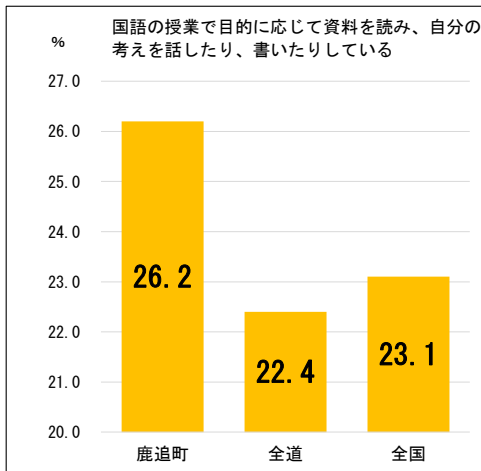
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



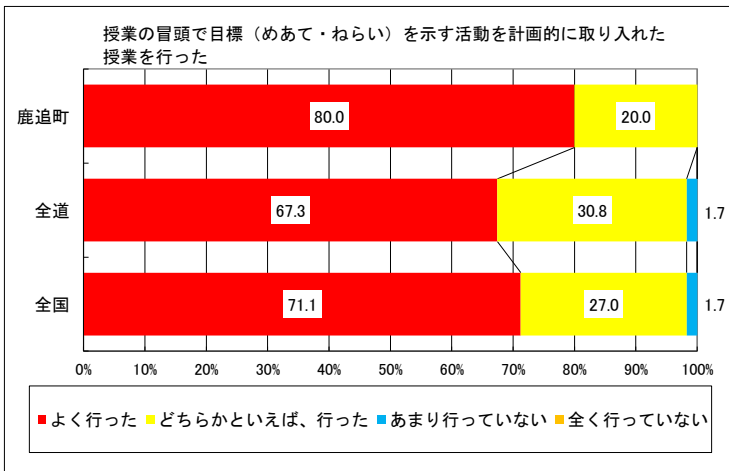
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「話すこと・聞くこと」、理科「生命」は、全国を上回り、算数A「数と計算」「数量関係」、算数B「数量関係」、理科「物質」は、全国平均とほぼ同等になっている。	○ 各学校で、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた授業について、全校的な取組を進めた結果、授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う児童が増え、国語の勉強が好きで児童や国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている児童が増加し、特に、国語A「話すこと・聞くこと」の力が付いてきていると考えられる。
児童質問紙	○ 国語の勉強が好きと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語の授業で、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと回答した児童の割合が、全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた授業を行った学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

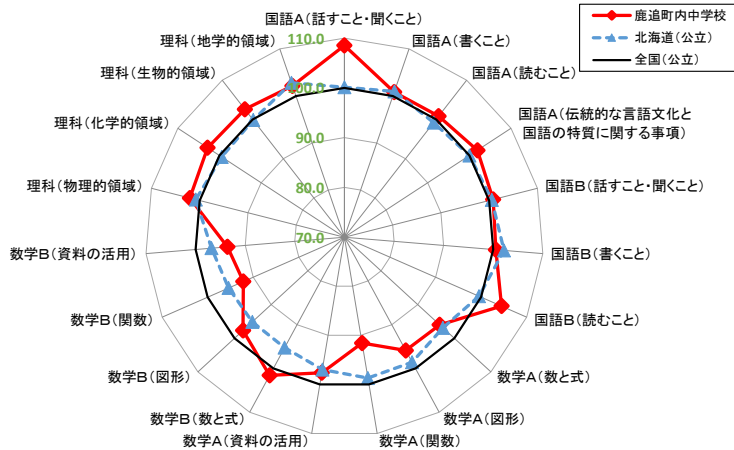
【鹿追町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果の分析を基にした授業改善の取組
- ◎ 学力向上を目指したチャレンジテストの活用
- ◎ 少人数指導や習熟度別学習等の指導による個に応じたきめ細やかな指導の実施
- ◎ 望ましい生活習慣の定着のための取組

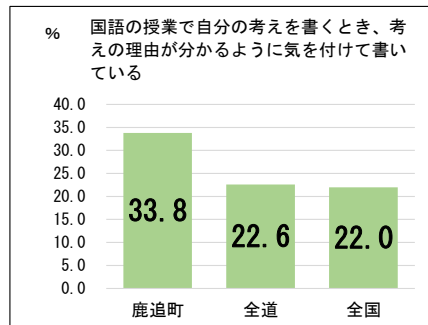
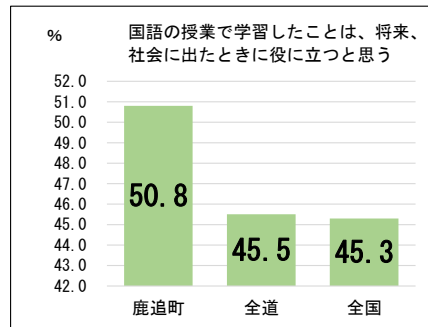
鹿追町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:65名)

【教科全体の状況】

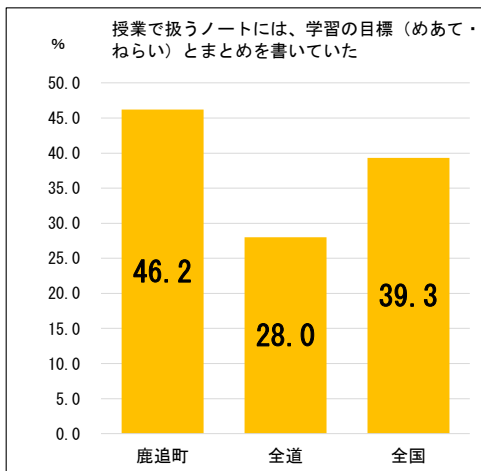
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



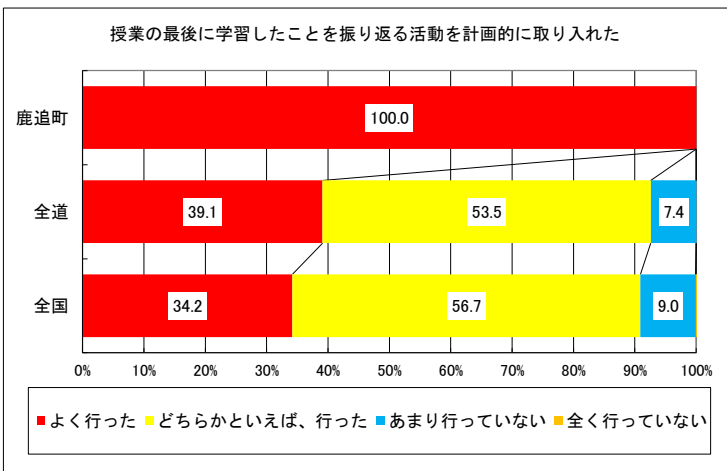
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A、Bの全領域、数学B「数と式」、理科の全領域が、全国を上回り、数学B「図形」は、全国平均とほぼ同等になっている。	○ 各学校で、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れることに関する指導について、全校的な取組を進めた結果、授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた生徒が増え、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと考える生徒や、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書く生徒が増加し、特に、国語の力が高まってきていると考えられる。
生徒質問紙	○ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた授業を「よく行った」と回答している。	

【鹿追町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果の分析を基にした授業改善の取組
- ◎ 学力向上を目指したチャレンジテストの活用
- ◎ 少人数指導や習熟度別学習等の指導による個に応じたきめ細やかな指導の実施
- ◎ 望ましい生活習慣の定着のための取組